さいたま市立大原中学校 学校だより
新しき光
校訓「歴史を拓く」 学校教育目標「はつらつとした生徒、地域の「一因」となる学校」

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397 FAX 048-835-1357
WEB https://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

第７号
令和８年１１月２日発行

「なりたい自分」へ向かって、さらなる一歩を

校長 加藤 英教

１１月になりました。前回の学校だよりを作成していた１か月前の手帳を見返すと、１０月当初は記録的な長雨がようやく終わり、再び厳しい暑さが戻っていたことが分かります。その後の１か月間、朝の通勤途中、たくさんの緑の葉で覆われていた見沼代用水沿いの木々も、ふと気付いた時には赤や黄、茶色に色付き始め、木枯らしに吹かれて葉が舞うようになりました。わずか１か月で、季節は一気に進んでいきました。

はじめに、報道は少なくなったものの、各地で発生した数々の自然災害により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、今なお被害に苦しんでおられるすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、先月２３日（金）には、第７３回体育祭が開催されました。当日は天候に恵まれ、絵に描いたような美しい秋の青空の下、多くの保護者の皆様、ご来賓や地域の皆様にもご来場いただき、生徒の皆さんが生き生きと競技に取り組む姿をご覧いただくことができました。

私自身、大原中の体育祭を心から楽しみにしておりましたが、予想をはるかに上回る、本当に素晴らしい体育祭となりました。そう感じたのは、体育委員会の皆さんを中心とした各係の生徒が運営に責任をもって取り組む姿、運動が得意な人もそうでない人も楽しめるよう趣向を凝らした競技の数々、個人や団体で全力を尽くす姿、そして競技に臨む仲間に温かい声援を送り続ける姿を、１日中見ることができたからです。大原中生が純粋に楽しんでいる姿を見ることで、私自身もとても幸せな気持ちになりました。特に、大原中の顔としてカッコイイ姿を随所に見せてくれた３年生には、終始感心させられました。素敵な体育祭を創り上げてくれてありがとう。

また先月は、体育祭だけでなく、さいたま市新人体育大会での新チームの活躍と県大会出場、上木崎大原祭での吹奏楽部の演奏や屋台のお手伝い、上木崎大原地区文化祭での絵画作品展示やボランティア活動、針ヶ谷公民館フェスティバルでの演劇部の発表、さいたま市駅伝競走大会での力走と、多くの大原中生が校外の様々な場所で活躍してくれました。先生方、保護者の方々、そして地域の方々も、皆さんの活躍を自分事のように喜んでいます。

学校生活には、それぞれの場面で全力を尽くす人が輝き「主人公」となる機会が数多く用意されています。その機会を自分の成長につなげるためには、「自分から変わる」「自分が変える」という強い意志をもつことが不可欠です。大会や発表会、そして中間テストや３年生の第１回さいたま市学力検査も終わりました。終わったことや出た結果を今から変えることはできません。それでも、その成果や結果をしっかり受け止め、不足していたことに気付いて対策を打つことで、これからの未来はいくらでも変えることができます。そのための決意と準備の気持ちを、大原中生全員に強くもってほしいと思っています。

年度当初にお話しした「なりたい自分になる」人生の大事な１年とするために、これからもそれぞれの場面で「なりたい自分に近づく」努力を続けていってほしいと思います。大原中学校のすべての皆さんの成長と飛躍を、これからも期待し、心から応援しています。